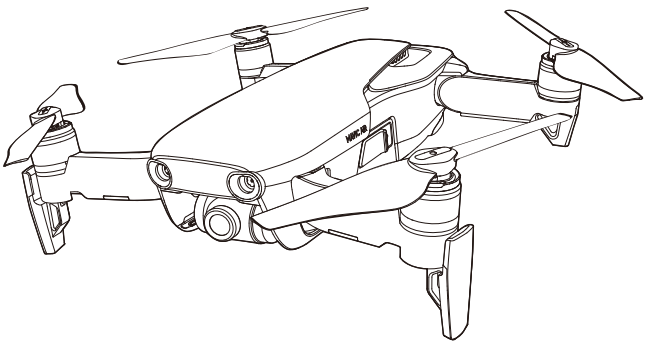
MAVIC AIR

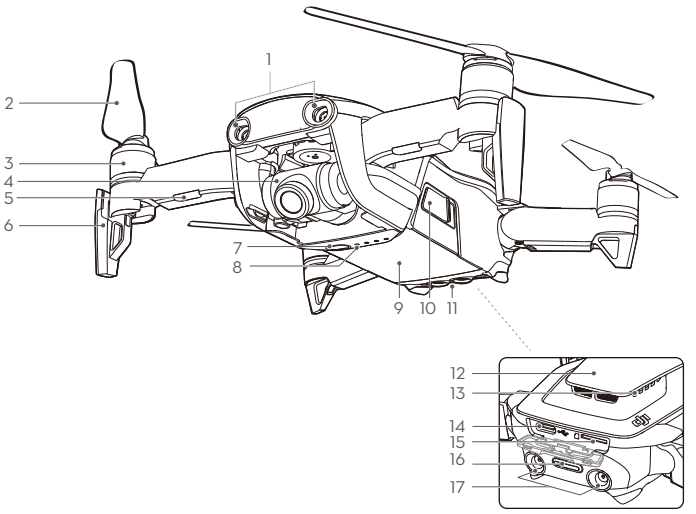
クイックスタートガイド

V1.0



機体

DJI™ MAVIC™ Airの特長は、一新された折りたたみデザインと4K動画 / 12MP写真を完全に安定した状態で撮影できる3軸ジンバルカメラです。障害物回避システムといったDJI代表的な技術と、スマートキャプチャー、8Kパノラマ、高度操縦支援システム（APAS）、クイックショット、アクティブトラック™、タップフライ™などのインテリジェントフライトモードで、複雑なショットも簡単に撮影できます。Mavic Airの最大飛行速度は68.4km/h、最大飛行時間*は21分です。



1. 前方ビジョンシステム**
2. プロペラ
3. モーター
4. ジンバルカメラ
5. フロントLED
6. ランディングギア（内蔵アンテナ）
7. 電源ボタン
8. バッテリー残量LED
9. インテリジェント・フライト・バッテリー
10. バッテリーバックル
11. 下方ビジョンシステム**
12. GPSアンテナ
13. ベント
14. USB -Cポート
15. カメラのmicro SDカードスロット
16. 機体ステータスインジケーター／ファンクションボタン
17. 後方ビジョンシステム**

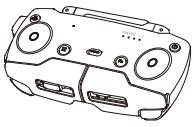
* 最大飛行時間は、無風状態で速度25km/hでテストしたものです。この値は参考値です。

** 前方、下方、後方ビジョンシステムは周辺環境の条件に影響を受けます。詳細については、免責事項および安全に関するガイドラインをお読みになり、DJI GO 4アプリまたはDJI公式ウェブサイトのチュートリアルをご覧ください。
http://www.dji.com/mavic-air

送信機

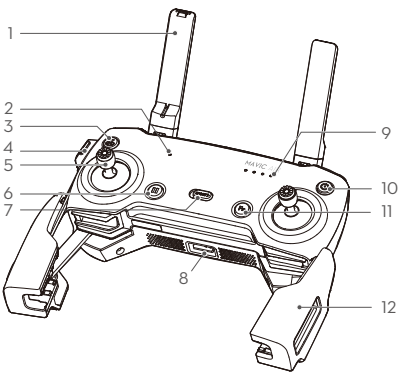
送信機にはDJIの高機能Wi-Fi技術が盛り込まれているため、最大伝送距離は4km（日本国内では2km）で、近距離で最大1,080p、長距離で720pの動画を機体からモバイルデバイスのDJI GO™ 4アプリへ送信します。コントロールスティックは着脱可能であるため、送信機の格納が容易です。また、Mavic Airは、バーチャルジョイスティックを使用してスマートフォン上で飛行をコントロールすることもできます。

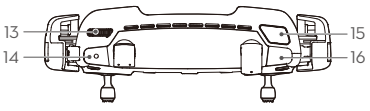
最大稼働時間：2.5時間*



折りたたんだ状態

1. アンテナ
2. ステータスLED
3. RTHボタン
4. 充電／メインビデオリンクポート（Micro USB）
5. コントロールスティック
6. フライトー時停止ボタン
7. フライトモードスイッチ
8. USB／アシスタントビデオリンクポート
9. バッテリー残量LED
10. 電源ボタン
11. ファンクションボタン
12. モバイル端末用クランプ





13. ジンバルダイヤル
14. 録画ボタン
15. カスタマイズ可能ボタン
16. シャッターボタン

* 送信機は、電磁干渉のない開けたエリアで、高度120mの時に最大伝送距離（FCC）を達成します。最大稼働時間はラボ環境でテストされており、参考値です。

仕様

- 機体

重量	430 g
最大速度	スポーツモードで64.8km/h (無風)
最大飛行時間	21分（無風、定速25km/h）
動作環境温度	0〜40°C
GNSS	GPS/GLONASS
動作周波数	2.4〜2.4835GHz：5.725〜5.850GHz （※日本国内では2.4GHzのみ利用可）
トランスミッター出力（EIRP）	2.4GHz：28dBm（FCC）、19dBm（CE）、19dBm（SRRC） 19dBm（MIC） 5.8GHz：31dBm（FCC）、14dBm（CE）、27dBm（SRRC）

- ジンバル

制御可能範囲	ピッチ：-90〜+0°（デフォルト設定） -90〜+17°（伸長時）

- カメラ

センサー	CMOS
最大画像サイズ	4,056x3,040
静止画撮影モード	シングルモード HDR バーストモード：3/5/7枚 オート露出ブラケット（AEB）： 0.7 EVバイアスでの3/5ブラケットフレーム インターバル撮影：2／3／5／7／10／15／20／30／60秒 パノラマ（3×1、3×3、3×7、スフィア）
ビデオ録画モード	4K Ultra HD：3,840×2,160 24/25/30p 2.7K：2,720×1,530 24/25/30/48/50/60p FHD：1,920×1,080 24/25/30/48/50/60/120p
ビデオ保存ビットレート	100Mbps
写真	JPEG、DNG
ビデオ	MP4、MOV（MPEG-4 AVC/H.264）
対応SDカード	microSDクラス10またはUHS-1規格が必要

- 送信機

サイズ	143.9×78.3×61.2mm（折りたたんだ状態）
動作周波数	2.4〜2.4835GHz：5.725〜5.850GHz （※日本国内では2.4GHzのみ利用可）
最大伝送距離	2.4GHz：FCC：4km、CE/SRRC/MIC：2km 5.8GHz：FCC：4km、CE：0.5km SRRC：2.5km （障害物および干渉がないこと）

動作環境温度	0〜40°C
バッテリー	2,970mAh
トランスミッター出力（EIRP）	2.4GHz：26dBm（FCC）、18dBm（CE）、18dBm（SRRC） 18dBm（MIC）
	5.8GHz：30dBm（FCC）、14dBm（CE）、26dBm（SRRC）
動作電圧	1,000mA @ 3.7V
対応モバイル端末サイズ	対応厚さ：6.5〜8.5mm、最大長：160mm
	対応USBポートタイプ：Lightning、Micro USB（Type B） USB-C

- 電源アダプター

電圧	13.2V
定格出力	50W

- インテリジェント・フライト・バッテリー

容量	2,375mAh
電圧	11.55V、最大13.2V
バッテリータイプ	LiPo 3S
電力量	27.43Wh
正味重量	約140g
充電温度範囲	5〜40°C
最大充電電力	60W

詳細については、以下にあるユーザーマニュアルを参照してください。
http://www.dji.com/mavic-air

※本書の内容は予告なく変更されることがあります。

1. DJI GO 4アプリのダウンロードとチュートリアルビデオの視聴

App StoreまたはGoogle Playで「DJI GO 4」を検索するか、QRコードをスキャンして、お手持ちのモバイル端末にアプリをダウンロードします。

DJI GO 4アプリ

www.dji.com/mavic-air にアクセスするか、DJI GO 4アプリ画面の右上隅にあるアイコンをタップしてチュートリアルビデオを視聴します。

チュートリアルビデオ

DJI GO 4はiOS 9.0以降とAndroid 4.4以降に対応しています。

2. 機体の準備

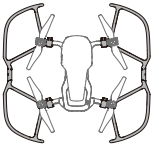
カメラからジンバルプロテクターを取り外します。

後方アームを展開します。

前方のアームとランディングギアを展開します。

展開状態

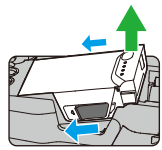
安全を確保するため、ビギナーモードや屋内で飛行させるときは、プロペラガードの装着をお勧めします。詳細については、Mavic Airプロペラガードのユーザーガイドを参照してください。



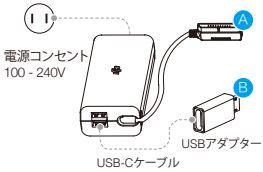
- 機体を使用しないときは、ジンバルプロテクターを取り付けることをお勧めします。ジンバルプロテクターを脱着するときは、必ずジンバルを水平に保ってください。
- ご使用前に、ランディングギアを必ず正しく展開してください。正しく展開されていない場合、内蔵アンテナが影響を受けてビデオリンクに重大な不具合が生じるおそれがあります。機体のアームを折りたたむ前に、必ずランディングギアを折りたたんでください。

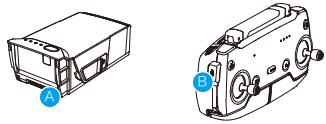
3. バッテリーの充電

初めて使用する場合は、付属の充電器を使用して、インテリジェント・フライト・バッテリーを完全に充電しておきます。



インテリジェント・フライト・バッテリーを機体から取り外します。

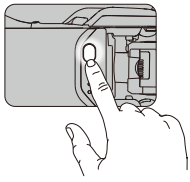




上記のようにポート経由でインテリジェント・フライト・バッテリーをバッテリー充電器に取り付けます。
インテリジェント・フライト・バッテリーの充電時間：
15～40°Cの温度環境で53分。5～15°Cの温度環境で1時間40分。
送信機の充電時間：2.5時間

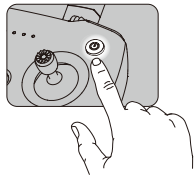
- インテリジェント・フライト・バッテリーが完全に充電されたら、カチッという音がするまで機体に挿入し、バッテリーがしっかり搭載されたことを確認します。
- オプションのバッテリー充電ハブを使用すると、最大4個のバッテリーを同時に充電できます。詳細については、DJI公式オンラインストアでご確認ください。
- 充電する前に送信機のケーブルを取り外します。付属のUSBアダプター付き通信ケーブルを充電器に接続します。

- バッテリー残量の確認と電源のオン／オフ



低 ●– バッテリー残量 → 高

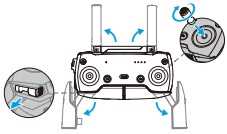
ボタンを1回押すと、バッテリー残量を確認できます。ボタンを1回押し、次に長押しすると、電源がオンまたはオフになります。



低 ●– バッテリー残量 → 高

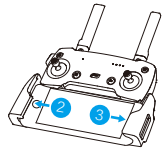
現在のバッテリー残量を確認するには、電源ボタンを1回押します。ボタンを1回押し、次に長押しすると、送信機の電源がオンまたはオフになります。

4. 送信機の準備



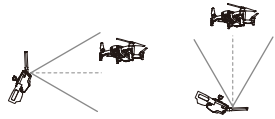
アンテナとモバイル端末用クランプを展開して、コントロールスティックを取り付けます。

送信機ケーブルの片端を、送信機の側面にあるスロット端に置きます。



クランプ内にモバイル端末を取り付けます。

アンテナが平行になるようにセットする



最適な伝送範囲

- コントロールスティックをしっかり取り付けてください。
- Lightningコネクター付きの送信機ケーブルがデフォルトで装着されています。お使いのモバイル端末を送信機に接続するのに適切なケーブルを使用してください。
- iPadやタブレットを使用するときは、送信機のUSBポートを使用してください。
- ビデオリンクの際、Micro USBポートとUSBポートを同時に使用しないでください。異なるポートを使用する場合は、ビデオリンクされているデバイスから他方のポートを切り離してください。

5. 離陸の準備

送信機の電源を入れる

機体の電源を入れる

DJI GO 4アプリを起動する

インターネット

ご自分のDJIアカウントを使用して機体をアクティベートします。アクティベートするにはインターネット接続が必要です。

6. 飛行

離陸する前に、DJI GO 4アプリの機体ステータスバーに「Ready to Go」が表示されていることを確認してください。

Ready to Go (GPS)

- 自動離陸／着陸

自動離陸

自動着陸

- 手動での離陸／着陸

モーター始動／停止のコンビネーション・スティック・コマンド

または

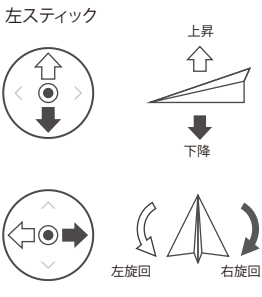
左スティックをゆっくり上げて離陸

地面に着くまで、左スティックを（ゆっくりと）下げます。
数秒間そのまま保持してから、モーターを停止します。

フライトコントローラーが深刻なエラーを検知したときに限り、飛行中にモーターが停止することがあります。

- 送信機操作

デフォルトのフライトコントロールはモード2です。左スティックで機体の高度と進行方向、右スティックで前進、後退、左右の動きをコントロールします。ジンバルダイヤルでカメラのチルト操作をコントロールします。



飛行中に緊急ブレーキをかけるときは、フライトー時停止ボタンを押します。

• モバイルデバイスを使用してWi-Fi経由で機体を制御

1. 機体の電源を入れます。
2. 機体のファンクションボタンを4秒間、2回ビープ音が鳴るまで押し続け、Wi-Fiコントロールモードに切り替えます。
3. DJI GO 4アプリを起動して、画面の右上隅にあるアイコンをタップします。そして、前方のアームにあるWi-Fi QRコードをスキャンして接続を開始します。
4. [Auto Takeoff]をタップします。
5. これで、バーチャルジョイスティックを使用してタッチコントロールで機体を飛行させることができます。

- 何らかの理由でQRコードをスキャンできない場合は、モバイルデバイスのWi-Fiをオンにして機体に書かれているWi-Fiパスワードを入力すれば、Mavic Airネットワークに接続できます。
- 電磁干渉のない開けた戸外でWi-Fiを使用した場合、高度50mでの伝送距離は80mです。
- 送信機モードに戻したときはリンク作業が必要です。モバイルデバイスのWi-Fi周波数は2.4GHzまたは5GHzに設定できます。通信の干渉を減らすには5GHzのWi-Fiを選択します。Mavic Airに接続したら、Wi-Fiのパスワードを変更したり、接続をリセットしたりすることができます。(詳細については、ユーザーマニュアルを参照してください)

• DJI GO 4アプリ

通常

QuickShot

アクティブトラック

タップフライ

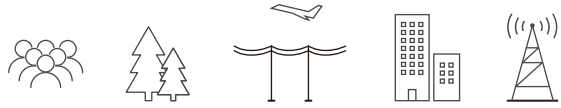
トライポッド

スマートキャプチャー

- 詳細については、DJI GO 4アプリまたはDJI公式ウェブサイトでチュートリアルをご覧ください。
- 離陸前に、必ず適切なRTH高度を設定してください。機体をホームポイントに戻す際は、コントロールスティックで誘導してください。

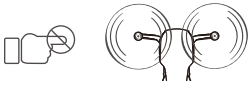
7. 安全なフライトのために

開けた場所での飛行　強いGPS信号　視界の維持　120m未満の高度で飛行



障害物、人混み、高電圧線、樹木、水域の上空や近くで飛行させないでください。電線や基地局などの強い電磁波域の周辺では、機体のコンパスが性能を発揮できないことがあるため、飛行させないでください。

雨、雪、霧、10m/sを超える強風時などの悪天候時には、機体を使用しないでください。



回転中のプロペラやモーターから離れてください。

飛行禁止区域

詳細については、以下をご覧ください。
http://www.dji.com/jp/flysafe/no-fly

ご自身の安全と周りの人々の安全のため、基本的なフライトガイドラインを理解することが重要です。免責事項および安全に関するガイドラインを必ずお読みください。

MAVICはDJIの商標です。
Copyright © 2018 DJI All Rights Reserved.

Printed in China.

MAVIC AIR

For online support, please scan this code with Facebook Messenger

0K1DRM01JP